



2019年7月25日発行 会報第980号

今週のプログラム

(2019年7月18日 第980回例会)

卓話「老後をどこでどう生きるか」

担当：小山 富夫 名誉会員

次週のプログラム

(2019年7月25日 第981回例会)

卓話「いろいろな話 No. 3」

担当：木下 吉宏 会員

第979回例会 (2019年7月11日) の記録

<会長の時間>

木下 健治会長

皆様、こんばんは。毎日蒸し暑い日が続いていますが、最高気温はまだ30℃以下で、去年よりは過ごしやすいかと思います。熱中症には十分ご留意下さい。

今日は、委員会活動方針発表ということで、各委員長に活動方針を発表して頂きますので、山田クラブ奉仕委員長、黒川職業奉仕副委員長、水島社会奉仕委員長、水本国際奉仕委員長、松田青少年奉仕委員長、よろしくお願い致します。ここで、五大奉仕の定義について振り返ってみます。

奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。

奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うことが含まれる。

奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。

奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物等を読むことや通信を通じて、さらには他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。

奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力育成活動、社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年並びに若者によって好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

これらは、ロータリーの哲学(奉仕理念)と奉仕活動の実践の両面からの基準となっています。

<お客様> 無し

<出席報告> 水島 洋 出席担当
会員数 (内出席免除会員 1名) 20名
本日の出席者数 (内免除会員 0名) 17名
(内名誉会員 0名)
本日の出席率 89.47%

<ロータリーソング> 全会員
♪Sing Everyone Sing♪

<ピアノ演奏> 近藤美里さん
1. 雨の日と月曜日は
2. イパネマの娘
3. 雨の日の噴水
4. サマータイム

<幹事報告> 渡邊 了允幹事

- 1) ガバナー事務局より青少年部門に係るハラスメント発生時に報告する連絡先の通達がありました。
- 2) 7月4日開催 理事会報告
 - ・今年度行事について
G20 大阪サミット開催の影響により、前年度6月末の最終例会が休会となり、当初1000回例会予定日12月12日が一週遅れとなり、年末最終例会12月19日クリスマス例会が1000回例会となる。
 - ・野崎会員休会について
会費減額:四半期(3ヵ月) 会費75,000円の50%相当額とする。
フォーラム代行:職業奉仕・黒川会員 国際交流・青少年・藤田会員
 - ・新例会場について:現在の候補地を移動例会として実施し確認する。
8/22(木) 箕面駅前「フォレストガーデン」
9/19(木) お月見例会「新大阪江坂東急REIホテル」
10/10(木) 「箕面市立多文化交流センター」

<表彰>

米山功労者:第10回メジャードナー 黒川 彰夫 会員



<SAA 報告>

西本 明文 副 SAA

※スマイルボックス

黒川会員 高尾さん、お帰りなさい！
コメント無し 山下会員、西本（明）会員、西本（詩）会員

※ロータリー財団

水島会員 来週は小山名誉会員に卓話をお願いしています。
松田会員 青少年奉仕委員会よろしく！ 今年委員長らしいです！！
黒川会員 木下健治会長、頑張れ！！
コメント無し 相原会員、山田会員、渡邊会員、山下会員、西本（明）会員

※米山記念奨学会

藤田会員 クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年 各委員長
宜しくお願いします。
水本会員 今期、初会報です。皆様ご協力宜しくお願いします。
黒川会員 渡邊幹事、頑張れ！！
相原会員 創立45年を迎えました。
柳原会員 久しぶりに釣りに行きます。
木下（健）会員 今日は傘がじゃまでした。
コメント無し 山下会員、西本（明）会員

※ラオス基金

西本（詩）会員 山田さん、何かとお世話様になります
黒川会員 ラオスに行く人教えて！！
柳原会員 ガシラ釣って来ます。
コメント無し 山下会員

※メイプル基金

山本（友）会員 各委員長様、本日宜しくお願い致します。
木下（健）会員 委員長の皆様宜しくお願い致します。
黒川会員 ムシムシしますね
水島会員 各委員長、発表宜しくお願い致します。
私は社会奉仕委員会担当です
西本（詩）会員 定まらないお天気ですが、トンボが飛んでいるのを見ました。
高尾会員 各委員長様、一年間宜しく申し上げます。
松田会員 木下丸、第1回欠席のお詫び！
コメント無し 西本（明）会員、渡邊会員、山下会員

<卓 話>

委員会活動方針

<クラブ奉仕委員会>

山田克子 委員長

木下健治会長・渡邊幹事の目指す様々な活動を支えさせて頂きたいと思っています。
藤田親睦委員長より各記念例会では、移動例会としながら新しい例会場所を皆さんと共に探す事も今年度の大事な行事となります。12月には1000回例会を迎えます。記念行事と共に心に残る例会行事にしたいと思います。親睦委員会・会員委員会・会報委員会・情報委員会が一丸となって今期のクラブ奉仕委員会をまとめられますよう、例会前・例会・例会後・例会日以外でも親睦を積み重ね、皆様と一緒に楽しく過ごせるような1年を送りたいと思っています。

<職業奉仕委員会>

黒川彰夫 委員長

2660地区の「ロータリー百科事典」によりますと「職業奉仕を考える」の項で、ロータリーの目的は、日々の仕事を通して世の中に貢献するために、奉仕の心を育て向上させることです。奉仕とは他人のために何かをすること、他人のニーズを充たすことを自己の責務として行なうことです。それによって、自己の職業の品位と道德水準を高め、社会から尊重される存在にすることが出来るのです。」と記載されています。

しかし、実際には理解し難い面もあり、わがクラブでは、職場訪問を主体に職業奉仕活動を実施してきました。結果、最近では必ずしも活発ではなかった本委員会は、一昨年度、昨年度と連続で職業奉仕委員長を担当された渡邊了允会員の尽力により、出雲大社参拝と伊勢神宮参拝という移動例会を兼ねた素晴らしい職業奉仕活動がなされました。

今年度も、可能な限り当クラブの会員に関係した職場を見学あるいは訪問したいと考えています。例えば、東大阪などの下町ロケットのような町工場を見学する機会があれば良いのにと密かに思っています。会員の皆様の忌憚ないご意見をお聞かせ下さい。

<国際奉仕委員会>

水本 徹 委員長

国際奉仕委員会には「ロータリー財団」・「米山奨学会」・「国際奉仕プロジェクト」・「国際交流・青少年」の四つの小委員会があります。

千里メイプルロータリークラブは会員20名の小クラブの為、従来より「米山奨学会」「国際プロジェクト」「国際交流・青少年」の三つの活動を以下のように特化してまいりました。

■米山奨学会

今年度もマレーシアからの奨学生タン フィ ウェン エリカさんを迎えており創立21年にして13名の奨学生を受け入れてきました。
卒業された奨学生の何名かとは現在も交流が続いています。

■国際交流・青少年

毎年、関西大学国際部 山本 英一教授のご尽力で11月に留学生との交流会を催し、

留学生から見た日本に対して感じたことや祖国との違いをお聞きし、会員も毎年大変楽しみにしている企画となっております。

■国際奉仕プロジェクト

川崎医療福祉大学 山本加奈子准教授の「ラオス農村地域における学校保健支援」を10年以上フォローしてきましたが、会員が実際にラオスに赴き支援活動を行うことで一層の支援が必要と数年前、新たに「ラオス基金」を創設し、会員皆様のご理解とご支援で充実した活動が出来ていると自負しております。

<青少年奉仕委員会>

松田親男 委員長

ロータリー生活の中で青少年奉仕委員長は初めての経験です。

調べてみますと、ローターアクト、インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)、ロータリー青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することだそうです。当クラブは、ライラは毎年協力していますし、2013年春にはライラのホストクラブを務めました。

他クラブではどのような青少年活動を行っているかを調べてみますと、①花いっぱいプロジェクト ②講演会 ③出前授業 ④外国の青少年との交流等様々な活動が見受けられます。社会奉仕活動や職業奉仕活動と考えられる面もあるけれども切り口によっては青少年奉仕活動ととらえることもできる活動がたくさんあります。その意味で当クラブにおいても、職業奉仕、社会奉仕と連帯して、今後の青少年奉仕活動を模索してゆきたいと思えます。

<社会奉仕委員会>

水島 洋 委員長

①新しい事業として「こども食堂」に取り組んでみたいと考えます。こども食堂は、子どもの貧困対策と地域交流拠点として作られ、孤立する子どものいない「にぎわい」をつくることを目的とし、この3年で10倍、全国約3700箇所で開催されています。

具体的には、吹田市江坂に拠点を置く一般社団法人「放課後kids」という団体に連絡を取り、7月26日に訪問し、8月8日の社会奉仕フォーラムで卓話をしていただく予定です。そのパンフレットには「子どもたちの「居場所作り」「食の支援」「学習機会の提供」を進め、子どもたちが安心して過ごせる場所を提供し、子どもたちの育成に役立ちたいと考えています」と謳われていますので、当クラブとして何らかの支援につなげられるかな、と考えています。

<編集後記・追加情報・チョット一言・ライブラリー・etc>

原稿入手の都合で、若干順序入れ替わりました。ご容赦願います。

文責：水本 徹